

水が、あぶないー 絶望のなみだを希望のひとしずくに

映画『ウナイ 透明な闇 PFAS汚染に立ち向かう』

上映会 & 学習会

参加費無料



近年、全国各地での環境汚染が報じられているPFAS（有機フッ素化合物）。兵庫県でも明石川流域で高値が検出され、その後、他の地域でも高値の地点が明らかになっています。

このPFASについて、県内で初めて住民の血液検査を実施した兵庫県民主医療機関連合会の取り組みと健康への影響について、PFAS問題プロジェクトチームの責任者であり、PFAS相談外来を開始した瀧本和雄先生にお話しいただきます。沖縄県のPFAS汚染を追ったドキュメンタリー映画『ウナイ 透明な闇 PFAS汚染に立ち向かう』の上映とあわせてぜひご参加ください。

<タイムスケジュール>

13:30～ 映画上映(106分)

15:30～ 学習会

「PFAS運動の取り組みと
私たちの健康(仮)」

講師 兵庫県民主医療機関連合会
東神戸病院
兵庫民医連PFAS問題プロジェクトチーム責任者
医師 瀧本 和雄 先生

どなたでもご参加いただけます！

申込方法は裏面に掲載

3月1日(日) 13:30～16:30 (13:00開場)

会場/三田市・キッピーモール6F 多目的ホール (JR三田駅前)

参加費/無料

後援/三田市・三田市教育委員会

解説

すべては 2016 年に沖縄県が開いた会見から始まった。「県民 45 万人に供給する水道の水に化学物質 PFAS が含まれていた」
— との発表を受けて、多くの人々の反応は「PFAS って何？」
というもの。すぐに関心が高まったわけではなかった。やがて
立ち上がる女性たちも当初は他人事だった。しかし、米国では
すでに、がん、低体重出生など、健康影響が確認されていた。
その深刻さに女性たちは気づいていく。

「他のお母さんたちにも知らせなきゃ」と、彼女たちは街頭で
涙ながらに訴え、調査や浄化を求める。しかし、沖縄では汚染
発覚から 9 年経ってなお、汚染源の特定すら出来ない。なぜか!?
汚染源とみられる基地への立ち入り調査を米軍が拒み続けるか
ら。それでも、子どもたちのために諦めるわけにはないと徒手
空拳の闘いを続ける女性たちは国連を目指す。

一方、米国や欧州では PFAS の毒性を重くみて規制の波が押し
寄せる。その波を起こしたのは女性たちだった。こうした国の
人々は、彼女たちの声に耳を傾け、現実を変えてきた。日本人
は何をしてきたか？

PFAS とは

有機フッ素化合物の総称。水や油を
はじく特性をいかし焦げ付かないフ
ライパンや防水スプレー、半導体、
泡消火剤などあらゆる生活用品に使
われてきた。PFAS の中でも PFOS や
PFOA などは、発がん性など人体への
有害性が指摘され、世界では毒性を
重く見て規制が進む。

監督＝平良いずみ

プロデューサー＝山里孫存 千葉聡史

音楽＝半野喜弘 撮影＝大城学 赤嶺信悟

編集＝田邊志麻 山里孫存 構成＝渡邊修

— 製作＝GODOM 沖縄 製作協力・配

給＝太秦 文化庁文化芸術振興費補助金

(日本映画製作支援事業) 独立行政法人

日本芸術文化振興会 【2025 年/日本/

16 : 9 / 106 分】 ©2025 GODOM 沖縄



申込方法 下記のいずれかの方法でお申し込みください

FAX・郵送で

下記申込書をお送りください

電話・メールで

代表者氏名、電話番号、参加人数
をお知らせください

スマートフォン・パソコンから

右記 QR コードまたは URL より
申込フォームにアクセスし、必要
事項を入力後、送信してください



<https://x.gd/HseA7>

※当日の受付も可能ですが、定員（100名）がございますので、2月26日までにお申込ください

FAX 078-393-1802

映画「ウナイ 透明な闇 PFAS 汚染に立ち向かう」上映会&学習会申込書

3/1 映画上映会&学習会に（ _____ ）人参加します

氏名[_____] 電話[_____]

〒650-0024 神戸市中央区海岸通 1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル 5F
TEL:078-393-1801 FAX:078-393-1802 Email:hirai-y@doc-net.or.jp
兵庫県保険医協会 北摂・丹波支部 担当:平井